

ひととひと まちとまちをつなぐ芸備線 ～芸備線再構築協議会で取り組む実証事業～

地域交通課芸備線対策係 ☎0824-73-1171

7月9日、第4回芸備線再構築協議会が岡山市で開催され、本年度予算案の変更が承認されました。今後は、協議会によって、芸備線がもたらす地域経済効果などを確認するための実証事業が行われます。

具体的な実証事業の取り組み

① 住民・来訪者利用に合わせた
鉄道サービスの拡充・二次交通
との連携強化

○平日・土休日における芸備線の増便・
ダイヤ変更

■毎日夕刻以降の増便またはダイヤ変
更（9月以降予定）

■土休日の増便（7月19日（土））

○二次交通との連携強化

■芸備線のダイヤに合わせ、バスや乗
合タクシーなどの二次交通の運行

■芸備線と二次交通が相互に利用可能
となる企画乗車券の設定

② 列車による観光コンテンツの形成

○列車内外装のラッピングなど、列車
自体の観光コンテンツ化

○地域食材を生かした商品を列車内な
どで提供

○駅舎周辺施設でのイベントの実施

③ 広域的な周遊コンテンツとの連携

○知名度が高いスマートフォンアプリ
などと連携したイベントなどの実施

④ 広域拠点として駅舎の活用・ 産業拠点形成

○駅舎の空きスペースを活用したサテ
ライトオフィスを希望する企業誘致

⑤ 芸備線や駅周辺施設を活用した 移住体験の提供による定住促進

○駅周辺の空き家などを活用した移住
体験プログラムの提供

臨時列車の運行

実証事業の取り組みとして、7月19
日（土）から11月24日（月）までの土休日の日
中に、臨時列車が運行します。
※詳しくはJR西日本ホーム
ページをご覧ください。



第4回芸備線再構築協議会での 市の意見

■芸備線利用への行動変容を促すため
には、取り組みの周知から定着に一
定の時間を要することや、観光利用
における時期に応じた移動需要の変
化を踏まえる必要がある。

■中国運輸局には、列車の増便などを
土台とした1年間の実証期間の確保
をお願いしたい。JR西日本には、
7月から開始される増便に引き続き
本年12月以降の増便についても、協
力をお願いしたい。

■実証事業を通じてもたらされる地域
への波及効果は、沿線地域全体の活
性化の観点から、特定区間に留まら
ず、芸備線全体で享受できることが
望ましい。

■そのためには、沿線自治体や地域の
関係団体などが一体となった取り組
みを行い、鉄道による広域移動が促

され、人々の往来の活発化につなげ
ていきたい。そのため、広島市・三
次市・安芸高田市にも、増便をはじ
めとする実証事業への協力をお願い
したい。

■本市においては、市民や来訪者など
の利便性向上に向けた二次交通の整
備をはじめ、地域資源を生かした誘
客などに取り組んでいき、住民の行
動変容や地域経済などへの波及効果
の最大化が図られるよう、地域の関
係団体などへ協力を求めていく。



協議会で発言する木村副市長

再構築協議会に関する
対応などを市のホーム
ページに掲載しています



詳しい内容や当日の資料は
中国運輸局ホームページに
掲載されています

